



# 枝垂れ柳

寒河江市立寒河江小学校

令和 6年12月19日

学校教育目標【ともに学び ともに輝き ともに高まる子ども】

## 今、やなぎっ子の代表委員会がおもしろい

今月の12日（木）のロング昼休みの時間、「第5回代表委員会」が3階図工室で行われました。代表委員会は、以下のような児童会活動の目標のもとに運営されています。

＜児童会活動の目標＞ ※『令和6年度 学校経営概要』より

① 児童が自分たちの学校生活向上のために、自発的・自治的に学校生活の問題について話し合い、解決できるようにする。

② 学校生活において、自分たちで分担処理できる校内の活動を自主的にできるようにする。

【構成】 4年以上の各クラスから選出された代表委員2名、各委員会委員長と計画委員が参加する。

【仕事】 生活目標ならびに各クラスや各委員会からの提出議題をもとに、学校全体に関わる内容について討議する。

【開催日】年6回開催する。また、必要に応じて臨時に開催する。

まさに代表委員会は、計画委員長の松田美波さんが最初のあいさつの中で、「学校をよりよくするために話し合ってみましょう」と話していたように、子どもたちが自分たちの学校のくらしを創っていくために主体的に話し合い、決めていく大切な場です。

この日の代表委員会では、3つのことについて話し合いが行われました。

1つ目は、今年度の児童会スローガン「あいさつとびかうやなぎっ子 心つながる親切を」にもなっている「あいさつ」についてでした。各クラスが現状についてふり返り、さらに意識し・実践していくことを出し合いました。

2つ目と3つ目は、冬になり遊び方も限定されてしまうことから、「外での雪合戦について」と「室内の遊び方についての確認」でした。

外での雪合戦については、「雪合戦をしてもよいのかどうか」というそもそものことから話し合われ、意見が分かれました。中でも、全員が楽しむことができるようにすることやけがをしまうので危ないのではないかと安全面のことが話題になりました。さらに、室内での遊び方については、遊び道具を増やして遊びたいので、みんなが楽しく遊ぶために、具体的で必要なルールがたくさん出されました。

「まずはやってみて、問題があったら直してはどうか」というやりながら改善していく意見も出されましたので、今日の話し合いをもとに計画委員会から具体的な提案が行われます。この代表委員会からも、子ども主体で子どもが育つ学校づくりが動いています。